

令和3(2021)年度
第1回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議
議事要旨

日 時：令和3(2021)年8月6日(金) 15時から
場 所：周南市役所 本庁舎4階 庁議室

【会 議 次 第】

1 開 会

2 企画部長あいさつ

3 委員の紹介

4 会長及び副会長の選出

5 議 事

(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要及び評価方法について

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

6 その他

7 閉 会

《 配付資料 》

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ 評価資料
- ・ 第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・ 周南市人口ビジョン改訂版

第1回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

日 時 令和3(2021)年8月6日(金) 15時から

場 所 周南市役所 本庁舎4階 庁議室

出席者 ・委員6名

江波 昭政、片山 恵子、榊原 弘之、河野 拓也、澤田 かおり、三浦 智香

・事務局5名、各事業担当者

企画部長 川口 洋司、企画部次長兼企画課長 末永 和宏、

企画課主幹 増本 俊彦、企画担当係長 中村 成孝、主査 中村 亮太、

各事業担当者

資 料 ・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

2 企画部長あいさつ

◇事務局 (企画部長 挨拶)

3 委員の紹介

◇事務局 続きまして、委員の紹介に移ります。時間の関係もございますので、名簿順に事務局から委員の皆様をご紹介させていただきます。

(委員 自己紹介)

◇事務局 次に、事務局の紹介に移ります。

(事務局 自己紹介)

4 会長及び副会長の選出

◇事務局 次に、会長及び副会長の選出に移ります。周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱第5条で、戦略会議に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選により定めるとされております。皆様の互選により会長・副会長を選出したいと存じますが、どなたかご意見はございますか。

●委員 (意見なし)

◇事務局 特にご意見がなければ、事務局から提案させていただいてもよろしいですか。

●委員 (異議なし)

◇事務局 昨年度の第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定時に、本会議の会長・副会長をお引き受けいただきました榊原委員に会長を、河野委員に副会長

をお願いしたいと存じますが、いかがですか。ご異議がなければ、拍手をもってご承認をお願いいたします。

●委員 (拍手承認)

◇事務局 ありがとうございます。委員の皆様のご承認により、会長に榊原委員、副会長に河野委員が選出されました。榊原会長、河野副会長におかれましては、前の席にご移動をお願いいたします。

(会長・副会長 移動)

◇事務局 ここで、会長・副会長より、一言ずつごあいさつをお願いします。

(会長・副会長 あいさつ)

◇事務局 ありがとうございます。それでは議事に移ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長どうぞよろしくをお願いいたします。

5 議事：(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要及び評価方法について

○会長 それでは、設置要綱に基づきまして議長を務めさせていただきます。議事進行につきまして、委員の皆様のご協力をお願いいたします。まず、一つ目の議事である第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要と評価方法について、事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 (資料を基に説明)

○会長 ただいまのご説明につきまして、質問がございましたらお願いいたします。

●委員 (質問なし)

5 議事：(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

○会長 それでは、二つ目の議事である総合戦略に関する評価に入ります。4ページをご覧ください。「基本目標1 雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり」の「推進施策(1) 産業基盤強化の促進」につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策(1)について説明～

○会長 私も港湾計画には若干関わっておりますが、4ページの一番下に書いてあるように、政府が2050年の脱炭素化を強く戦略として打ち出したというのがこの1年間の変化としてある中で、徳山下松港の整備の中では、やはり石炭というのが大きな割合を占めています。そうした大きな方向性があるとは言いながら、当面、港湾整備についても両立することだとは思いますが、やはり長期的な部分で見るとそこへの移行ということも意識していかざるを得ないかとは思っています。そのあたりについて担当課としてコメント等がありましたらお願いします。

◇事務局 現在、カーボンニュートラルということで国が進めていますが、徳山下松港においては、徳山地区で新たな発電所が2ヶ所建設されています。今後、バイオマ

ス関係の燃料の取扱いなどか確実に増えることから、引き続き、港湾整備について国・県に要望してまいりたいと考えています。

○会長 あと、私が承知しているところではバイオマスがありますし、水素の活用についても国交省の中国地方整備局などが色々お進めだと理解しています。もちろんこの1～2年でということではないですが、やはりそのあたりは意識していかざるを得ないのかなと思っていて、いずれ港湾にも反映してくるかなと思っていましたのでそのあたりをお伺いいたしました。

こちらは以上とさせていただきます。続きまして、「推進施策（2）企業立地の促進」についてお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策（2）について説明～

●委員 K P Iの本社機能移転等の認定件数については、1件進出があったという意味ですか。

◇事務局 今から市内に研究所を進出するということで認定をしているものです。現在、移転中ということです。

●委員 それについて、人員が今のところ3人しか増えていない。まだ増える可能性があるということですか。

◇事務局 ここにK P Iが三つありまして、一つ目と二つ目については、これから設備投資や本社移転などを行うという時に認定をします。三つ目については、そういった制度を使った後に、1年以上の新規の雇用実績や市内在住ということで認定をしますので、時差が生じてきます。

今回3件ということで人数的にはちょっと少なかったのですが、これは令和元年度に事業所設置奨励の制度を使われて設備投資を行った事業所において雇用が生まれました。

●委員 そういったタイムラグがあるということは理解できるのですが、目標達成するためには、進出企業を迎えることによって遅ればせながら雇用が創出されるというような見通し等も必要かなと感じましたので、よろしくお願いします。

○会長 K P Iの上二つが先行的な指標で、三つ目が後追いの指標だとすると、ご指摘あったように見通しなどがあると確かによろしいかもしれません。

●委員 市の支援制度による進出事業所での新規雇用者数が3人増えているとのことですが、これは周南市にお住まいの方を新規雇用されたという認識でよろしいですか。

◇事務局 そのとおりです。市外の方を採用された事業者もありますが、この補助制度には対象にならなかったということで、数字としては上がってきていません。あと、1年以上の雇用実績というのがありますので、残念ながら1年待たずに離職された場合にも補助制度としては対象にならないということになります。

○会長 そのあたりもかなり細かく追跡していただいているということかと思えます。

おそらく来年以降は三つ目の指標が遅れて達成してくるというところで、上手くいっているかというところを私たちとしては確認しないといけないのかなと思いました。上の二つの指標については今のところ順調のようですので、引き続きよろしく願いいたします。

こちらは以上とさせていただきます。続きまして、「推進施策（3）新事業・新産業・新エネルギーの創出」をお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策（3）について説明～

○会長 創業支援については目標を上回っていますが、コロナ禍ですとやはり新規創業にも逆風かと思うのですが、例えばどんな業種で創業があったのでしょうか。

◇事務局 令和2年度に創業した業種は多種にわたっていきまして、例えば、カフェやエステ、リラクゼーションサロンなどの業種で新規創業されています。

●委員 創業支援協議会にも参加させていただいていますが、相談件数193件のうち、創業された方が32名ということで乖離があるかなと思ったのですが、そのあたりはどのようにお考えですか。

◇事務局 相談件数は年度で区切っていますので、今回相談があつてすぐに創業に結びつかなかったとしても、翌年度以降の相談や講座等との連携により、継続して新規創業者の増加に繋げていこうという考えです。

●委員 やはり計画のブラッシュアップなどは必要だと思いますので、そういうところを金融機関としてサポートさせていただきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いします。あと、実際に創業された方へのサポートもアフターコロナに向けて大事なかなと思っておりますので、もしそういう施策をお考えであれば協力させていただきたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いします。

●委員 先程の創業の件で、相談件数193件はどういった地域の方が周南市に魅力を感じて創業したいと思われているのか、分かれば教えてください。

◇事務局 基本的には周南市内の方が大半です。詳細な資料を持ち合わせていませんが、特に接客を伴うような業種についての相談が多いと感じています。それから、徳山商工会議所で創業カレッジを開催していただいておりますが、開催されない市町村も周辺部にはありますので、そういった方々がこちらを利用されるということも聞いております。

●委員 アフターコロナでの二拠点生活や、リモートができるのでこの場所でのいうようなところがあると思うので、例えば、市外から掘り出していけると後ろのKPIに繋がっていくのかなと思いました。

○会長 こちらにつきましては以上とさせていただきます。続きまして、「推進施策（4）稼げる農林水産業の構築」です。よろしく願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1の推進施策（4）について説明～

●委員 いろんな団体との連携を強化されているということですが、特に効果的であつ

た、力を入れているという事業あれば教えてください。

◇事務局 それぞれ分野・目的が変わりますが、例えば、地域商社は市外・県外に向けてのネットワークやノウハウをお持ちですので、市外・県外をターゲットにする時には地域商社と連携します。また、地場産業振興センターは周南市を盛り上げるためにイベントに出店していただいたり、東京のおいでませ山口館でのイベントと一緒に出店するなどの協力をしています。また、道の駅ソレーネ周南は農林課の所管施設でもありますし、地産地消を推進する拠点と考えていますので、主に地域の物を地域の方や来られる方にPRして、地産地消の啓発・促進・需要拡大を図っています。

●委員 こんなことをして良かったのでもっとやりたいとか、これはやったけど失敗だったとか、具体的な例はありますか。

◇事務局 地域商社に関しては、各市町の特産品を同じコンセプトで作る「やまぐるめぐり」という商品を令和2年に作ったのですが、周南市からは鹿野高原豚を使った商品を事業者・地域商社・市で一緒に開発しました。地場産業振興センターとは、昨年、量販店での地域産品フェアを行い、そこに出品いただいて商品をPR販売していただいたり、昨年2月に1ヶ月間、おいでませ山口館で周南地域の商品を展示販売しました。道の駅ソレーネ周南も量販店での地域産品フェアに出発いただいたり、レストラン菜が地産地消推進店に認定されているので、周南トマトメニューフェアにご参加いただいて、周南トマトの利用促進や地産地消のPRなどに一緒に取り組みました。

○会長 このあたり重要な取組だと思えますが、商品は違うにしても各市でやっておられますので、ライバルが多いというか競争も大変なのかなという印象を受けていますが、そのあたりはどのような状況でしょうか。例えば、先程言われたソーセージにしてもトマトにしても。

◇事務局 素材が似通っているとどうしても出来るものは重複するのですが、そこを「しゅうなんブランド」に認定することによって、他の商品との差別化を図り、消費者の皆様が付加価値を感じていただけるようPRしていけたらと思っています。

○会長 地域ブランドみたいなのも他市もやっていると思います。大事だと思いますが、なかなか大変かなとも思います。

◇事務局 そこで周南市らしさをいかに出していけるかが課題だと思っています。

○会長 推進施策（4）については以上とさせていただきます。では、「推進施策（5）雇用の充実」です。よろしく願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策（5）について説明～

●委員 会社等への働きかけをされていますが、やはり女性は結婚・出産などの人生の起点があり、男性の考え次第で働けなくなるということがあります。男性が理解していただかないと女性の社会進出はできない部分が多々あると思います。学

校等で男性の意識改革等を進める施策はないのでしょうか。

◇事務局 今の時点では学校への働きかけの事業はございません。

○会長 担当課を超えてくる話かとも思いますが、例えば、家庭の理解みたいなことで
すか。

●委員 家庭の理解がないと女性は外に出て働けない。やはり男性と女性が同等に家庭
の事をするという考え方がないと女性は外に働きに行かない。食事を作る、子育て
をする、大部分が女性にかかってくる。そうすると女性は時間がない、じゃあ
働きに行けない、でも働きに行きたい、時間がないのでパートになる、という
ことで女性の社会進出の機会がだんだん狭まってしまい、女性が働ける場という
のはどんどん縮んでいってしまいます。会社が変わっても家庭が変わらないと意
味がないと思うのですが、いかがでしょうか。

◇事務局 次の基本目標2で今のご質問のような取組をご紹介させていただくようにして
いますので、そちらで改めてご説明させていただきます。

●委員 K P Iの数字を見ると、非常に若い女性の方が機会を得ているように見えます
が、実際は何歳ぐらいの方がどんな職種にマッチングしたのかを教えてください
ますか。

◇事務局 34人のうち20人が新規創業者数で、先程の創業支援等協議会の数字から女性
を抽出した数字です。業種については、先程ご紹介したエステやカフェ、リラク
ゼーションマッサージといった業種に新たに就かれています。34件の年代の構成
比としては、20代が19%、30代が31%、40代が25%、50代が20%という結果
でした。あと、新規就業者は14人ですが、特に市の方で誘致を進めておりますク
リエイティブ産業や情報通信産業といった若者・女性に関心を持つ企業に対して
新規就業者数が10人です。

●委員 うちの学生とも話しているのですが、周南市で働くところがないという女性の
意見があって、実際に何歳ぐらいの方がどういうところでどういう形で働いて
いるのか、働く場所があるのかというのを見える化していくことが結構大事なな
と思っていたので、そういうところが見えてくると面白い数字が出てくるのかな
と思いました。

●委員 この議題については、確かに基本目標の2とか3とかに関わってくると思いま
す。資料の1ページに、評価の視点ということで市内部の連携がとれているか
ということの評価してくれということになっていますので、一番良い案件ではない
かと思いますので、これを活かしていただきたいと思います。

○会長 この施策自体の目標としては、そういった部局間連携というところだと思いま
すので、そのあたりも今後ご検討いただければと思います。

推進施策(5)については、若者・女性・高齢者など、多様な就業機会の確保
ということですが、具体的な施策はどちらかというとな女性の就業促進がメインだ

ったように思います。例えば、高齢者などの施策はいかがですか。

◇事務局 女性雇用マッチング事業は3ヶ年の事業で、令和2年で終わったところです。令和2年中もコアターゲットは若い女性というところでスタートしたのですが、途中で年齢の幅を広げて高齢の方も参加できるイベントも開催してきました。令和3年度以降は、老若男女問わず就業を広げていくということで、動画を活用した就労支援サイトであるとか、ビジネス新拠点の設置に取り組んでいきたいと思っています。

○会長 それではこちら以上とさせていただきます。

◇事務局 本日ご欠席の天野委員から、ご意見とご質問を伺っていますので紹介させていただきます。

まず質問ですが、具体的な取組の内容が、令和2年度に取り組まれた内容と変わってきているのではないかと感じているということで、令和3年度以降、総合戦略の見直し等はされますかというご質問をいただいています。

回答としましては、具体的な取組について変更を検討したいと思っています。

もう一つはご意見ですが、動画をメインとした求人票では表せない企業の魅力発信は、求人と求職のミスマッチの解消の一助となり、若者や女性、高齢者などの就業機会の確保に繋がるのではないかと期待していますというご意見でした。

○会長 今のご意見を聞いて思ったのですが、我々の大学でも動画で企業紹介をしつつ、個別面談はズームやブレイクアウトセッションを使ったりしました。どうしても動画だと一方通行で、双方向のオンラインも色々ありますので、そういったこともあるかなと思いました。

以上が「基本目標1 雇用を確保して安定して働くことができるまちづくり」ということで、KPIにつきましては概ね順調なものが多かったと思いますが、個別の事業について色々ご意見をいただきありがとうございます。

続きまして、「基本目標2 子育てに寄り添い、次代を担う人材を育むまちづくり」ということで、「推進施策(1) 結婚、妊娠・出産・子育てに関する支援の促進」こちらよろしく願いいたします。

◇事務局 ～基本目標2・推進施策(1)について説明～

○会長 昨年、全国的に出生数が落ち込んだという報道も拝見しましたが、例えば、周南市におかれてはどのような状況ですか。

◇事務局 出生数につきましては、周南市でも令和元年に比べて令和2年は下がっています。例年、自然減といえますか、減少傾向が続いていて、昨年度に限って極端に出生数が下がったというほどの数字にはなっていません。

○会長 基本的には、これまでのトレンドの延長線上の範囲内ということですか。

◇事務局 例年と大きく乖離するほどの現象にはなっていないということです。

●委員 不妊治療に関する市独自の助成を開始したということで、非常にいいことだな

と思います。活用するにあたって、例えば、働いている女性はこういった支援の制度があっても会社側の理解が得られない、不妊治療だと明日突然休まなければいけないとかが起きると思いますが、企業側への働きかけなどは何か考えていらっしゃることはありますか。

◇事務局　まさにそのあたりが課題になっているところもありまして、昨年度の途中から申請者の皆様にアンケートを始めまして、今年度も続けていこうと思っています。実際、会社での休みの取りにくさとか、理解のなさとかがあるのかというところを調査していこうと思っています。また、昨年、商工振興課で開催した企業との会議に参加させていただいて、現在不妊治療というのが非常に増えていて、実際そういった時にはお休みが急遽必要になるとか、時間が必要とか、女性に関しては体への影響が強いので理解をしてくださいというような周知も始めたところですよ。今年度も引き続き活動していこうと思っています。

●委員　是非そのまま続けていただけたらと思います。

●委員　子ども食堂の件ですが、子ども食堂が増えるというのは、K P I の養育支援訪問事業の実施件数が増えたという評価になりますか。

◇事務局　子ども食堂につきましては、それぞれの地域で思いを持たれている方が主体となって立ち上げをされて、月に1回とか、年に数回とか、それぞれのペースで取組を始めておられます。子供の受け皿的な役割を果たしていけるようになればいいというような目標や、長い目で見たところの国の政策の方向性であったりとかはありますが、子ども食堂自体、まずは地域の中で繋がっていくところからスタートしていこうというところを進めていますので、今のところ養育支援訪問事業との直接の関わりは無い状況です。

●委員　とても素敵な事業ですし、デジタル化されていないのが勿体ないなど。例えば、子ども食堂についてもこの時期はやっているとかが市民の方にもっと伝わると効果があるのかなと思ったので、こういう事業を積極的にやっていますよという宣伝をすることで最終的な基本目標に繋がっていくのかなと思いました。

○会長　それでは、推進施策（1）につきましては以上とさせていただきます。続きまして、「推進施策（2）豊かな心を育む幼児教育・保育サービスの提供」についてよろしく願いいたします。

◇事務局　～基本目標2・推進施策（2）について説明～

○会長　確認ですが、K P I の二つ目の研修会の参加率は主な取組②・③のどちらのお話しですか。

◇事務局　主な取組②の幼児教育・保育の質の向上です。

○会長　保育園とかの研修ですね。昨年研修会は無かったけど、現場に行ったことをもって皆さん参加したということにされているということですか。

◇事務局　はい、そういうことです。

- 委員 待機児童は周南市にはいらっしゃいますか。
- ◇事務局 年度当初はいつもいませんが、年度途中で待機児童が数名発生しています。今年度の4月には発生していません。
- 委員 そうすると全員希望どおりに。
- ◇事務局 希望通りの園に行かれていない保護者がいらっしゃいます。一般的には通園が可能なところですが、自主的に待っておられるという方はどうしてもいらっしゃいます。第3希望まで書いていただくのですが、できるだけ希望の園に入れるよう調整をしているところです。
- 委員 待機児童はいらっしゃらないということですが、児童クラブのニーズとのギャップはどうですか。
- ◇事務局 児童クラブの定員は全クラブで1,900名少々ですが、コロナウイルス感染症の影響もあるのかもしれませんが、昨年度から定員に満たない申込者数しかいない状況です。夏季休業期間の申込が一番多いのですが、それでも定員数より少ない数字になっています。学校がある期間は必ず同じ小学校のクラブに入所できています。夏休みについては、10名少々に第1希望の在籍する小学校ではないクラブをご紹介しますということが、昨年、今年と生じていますが、基本的には受け皿は確保できているという状態です。
- 委員 先程、待機児童は年度中に発生するぐらいであまりいないということで、希望の園も第3希望までは出せる、通園可能であるということでした。都会では第3希望の園には入れたけれども、半日かかってとても仕事には行けないというニュースも多々あると思いますが、周南市においてはそんなことはないのでしょうか。
- ◇事務局 通園を希望される場所は、職場に近かったり、ご自宅に近かったり、様々あると思いますが、今、1～2歳の利用希望者が増えていまして、なかなか年度途中にご希望の園に入れない方はいらっしゃいます。待っていただく方もいらっしゃいますが、保護者が希望する園になるべくマッチするように現在再編整備を進めているところです。
- 委員 ということは今後整理が必要ということですね。よろしくお願いします。
- 会長 こちらについては以上とさせていただきます。続いて「推進施策（3）生き抜く力を育む教育の充実」についてよろしくお願ひいたします。
- ◇事務局 ～基本目標2・推進施策（3）について説明～
- 委員 タブレット端末を各家庭に持って帰られているということで、Wi-Fi環境があるご家庭は接続して使うことが可能かと思いますが、無い家庭につきましてはどのような対応されていますか。
- ◇事務局 モバイルルーターを導入していますので、環境の無いご家庭につきましては、市に申請していただければ無償で貸し出しを行っています。どうしても保護者の

意向で通信を行いたくない方には、端末の中で完結するような宿題の出し方等について、各学校のお考えの中で運用されている状況です。

●委員　私は高校生が2人おりますが、タブレットを支給していただけてすごくいいなと思いましたが、学校側も子供もどう有効に使っていいかが分からないし、学校によって使い方が全然違います。親にいたっては子供たちがどう使っているのか、どういう情報取っているのかよく分からないので、なかなか見えないものを管理するって本当に難しいなとは思っています。学校でも子供たちにどういう使い方をするのか、学校からもこういうふうに使っていきたいっていうのが見えるようになる、保護者も安心かなと思います。

●委員　数字の確認ですが、トイレの洋式化率50%というのは全ての便器の半分ということですか。

◇事務局　各小中学校の大便器で洋式化が幾らされているかということで計算をさせていただいていますので、整備率ということでお考えいただければと思います。

●委員　学校によってゼロとかは無いということですか。

◇事務局　基本的にゼロという学校はございませんが、いずれにしても整った学校から改修工事を実施させていただいています。

○会長　こちらのトイレの件ですが、学校は避難所になっていることも少なくないと思いますが、そういう意味でも子供のためだけではなく、必要なことだと思っています。それから、先程ご質問のあったICTの関係ですが、基本的にハード整備が終わったということで、先生方のスキル向上というところだろうなというのは自分の子供の学校を見ても思いますが、そこは一朝一夕にはというところはあると思います。自分も大学で教育に関わっていて、この方向性はもう後戻りはしないと思うので、先生方も大変だとは思いますがスキル等を身に付けていただけるといいなと思っています。

●委員　今すぐにオンライン授業をするとしたら、すぐにできますか。

◇事務局　基本的にはできる状況です。中には、不登校のお子様がいらっしゃるご家庭等についても端末をお貸しして授業配信をしたり、部屋が別であれば授業を受けられるお子さんがいらっしゃったら各部屋への配信というのも随時行っているところ です。

●委員　先生とお子さん全員が使いこなしているということによろしいですか。

◇事務局　使いこなしている先生はもちろんいらっしゃいますが、なかなかそれに手を焼いている先生方がいらっしゃるのも事実です。現在、学校一丸となって進めていらっしゃいますので、必要に応じてICT教育アドバイザーによる支援をしているところです。

○会長　大学でも、おっしゃったような活用というのも確かにあって、単にコロナだからというだけではなく、この1年で色んな使い方が出てきていると思うので、小

中学校の場合は高等教育機関より大変だと思いますが、この方向はもう戻れないのかなという気がしています。

それでは、こちらにつきましては以上とさせていただきます。ここまでが基本目標2で、次が基本目標3ですが、事務局の都合により基本目標3につきましては、「推進施策（4）高等教育機関等との連携」から審議をお願いします。

◇事務局 ～基本目標3・推進施策（4）について説明～

●委員 KPIの就職した学生の市内就職率ですが、おそらく徳山大学に関しては公立化することによってこの地域での就職率を上げるということだと思いますが、現況、徳山大学の学生の周南市での就職率は何%ぐらいでしょうか。

◇事務局 令和元年度になりますが、市内就職率が12.4%です。

●委員 山口県内になると、どうなりますか。

◇事務局 県内は29.4%で、約3割の県内就職率です。

●委員 おそらく公立化によって更にこれを増やすという形になると思うので、追って見ていただければと思います。

●委員 徳山大学に進学する市内及び県内の方はどの位いらっしゃるのですか。

◇事務局 令和2年度入学者の詳細ですが、徳山大学の定員280名に対して市内の出身者が12名の約4%です。県内の出身者は104名の35.1%。もう一つ、周南地域では31人で約10.5%という割合になっています。

●委員 ここを伸ばされたいということですか。市内在住者が徳山大学に行ってほしいし、他からも入って来てほしいということですか。

◇事務局 そうです。市内からは12人、割合で4%なので、これを高めていきたいということもありますし、公立化ということで全国から優秀な学生を集めて人材を育成し、周南市に就職してもらいたい。そういった人材を育てていきたいというところ です。

○会長 この件については色々申し上げているので繰り返しになりますが、公立化することで人気アップしている大学はかなりあるわけですが、具体的には、倍率が上がるということがよく起こっています。そこは公立化の効果ですが、その結果として私立から公立化した段階で地元進学率がむしろ下がってしまっている大学が散見されます。そのあたりのところに少し気を付けないといけないのと、この度の公立化の中では公立化後2年に看護系と情報系の新学科の創設を謳っておられて、そのあたりが地元での雇用などに繋がるかということが指標との関係でいうと大事なところだと思います。昨年の戦略会議でも申したと思いますが、周南市の場合は徳山大学と同時に徳山高専もおられますので、文系が主の徳山大学と理系の高専ということで、両方と一緒にやっていくことがすごく大事だと思います。

では、こちらについては以上とさせていただきます。

◇事務局 申し訳ございませんが、次の推進施策に入る前に、先程の基本目標 2 の推進施策（3）について、一件訂正があります。

先程のトイレ洋式化のご説明の中で、発言が誤っていた点がございましたので訂正させていただきます。先程、洋式便器が無い学校は現時点では無いとお答えしましたが、実際には鹿野中学校につきましては洋式便器がありません。ただし、現在、小中一貫校の取組を行っておりまして、小学校の校舎に中学校の生徒と一緒に学べる環境を作るための工事を行っておりますので、来年度にはその校舎を使うので洋式化については整備がある程度進んでいるという意味合いでお答えさせていただきました。

～基本目標 3 ・推進施策（1）について説明～

●委員 SNS のフォロワー数ですが、私も新聞を拝見しましたが、全体では前年より落ちていますよね。それとこの新しいキャッチフレーズの効果といたしますか、そのあたりの現状分析はされていますか。

◇事務局 Facebook は前シティプロモーション施策の時に広告を出して「いいね！」を押ししてもらって数を伸ばしたのですが、今は宣伝を出してまで伸ばそうとしていないので数字は落ちています。ただし、他の Twitter、Instagram、YouTube、それに今月中に LINE も含めて情報発信の媒体を増やして、いわゆるマルチチャンネルといいまして、それぞれの媒体で年齢層や内容等が異なりますので、好きなチャンネルを選んでもらって情報発信を増やしていこうという取組を考えています。さらに、シティプロモーションの情報がより多くの人に伝わるように新しいホームページの更新も考えていまして、周南市ゆかりの著名人など人にクローズアップして、人と人との繋がりを設けるようなもので情報発信を増やして関係人口の輪を広げていこうと考えています。

●委員 従来は数を増やすことだけに専念してやったけれども、今からは実を取りたいという方針でいくということですか。

◇事務局 100 万人ネットワークというのは 100 万人の登録者数という意味ではなくて、100 万人に情報が届くようにということで、その究極の目的としては応援隊として実際に動いてくれる人や応援してくれる人に対して、応援してくださいとか応援してほしいという情報を発信することです。そこがプラットフォームの中心であり、実です。それもやりながら周南市の情報を広げていき、100 万人に達するぐらいの情報発信をしたいという二通りで考えていますが、主はちゃんと応援してくれる応援隊で、SNS でもライトなファンに向けて情報を流すという形で本格的に動けるよう準備をしています。

●委員 ファンからの宣伝が肝になると思います。私も言われればやりますので、よろしくをお願いします。

○会長 あまり個別の媒体のことを言うのはあれですが、Facebook が落ちたのは SNS と

しての Facebook 自体の勢いも正直なところある気がします。若い方は Twitter、Instagram、YouTube、LINE にはいますが、Facebook にはいらっしやいませんので、媒体の栄枯盛衰みたいな影響も受けているような気がしました。

●委員 先程のご回答の中で、応援隊という言葉をお使いになられたと思いますが、具体的にはどんなことをしてもらいたいと考えていますか。

◇事務局 現在、Facebook グループで応援隊というものを組織しています。登録していただいで交流する SNS が Facebook グループということで、そこで何をするかというと、登録してもらう人は周南市を応援したい、盛り上げたいという人で、例えば地域でイベントをするので来てくださいとか、ボランティアを募集していて何月何日にゴミ拾いをしますので来てくださいといった簡単なことから、ふるさと納税をやっている事業者が市外の方に向けて投稿する、空き家で困っているので誰か相談することができませんかというようなことを想定しています。情報で課題を解決するような形も含めて、応援隊というグループの中で会員同士が交流しながらやればよいということで、3月から始めています。ただ、なかなか情報も集まらず活発化していないので、もっと知っていただき、参加・協力していただくための仕掛けとしてホームページを新しくすることによって地域の情報が入ってきて応援隊に興味を持ってもらうということも行います。また、会長が言われたように、確かに若い人が Facebook をやらない。なかなか実名で登録できないということも含めて課題を分析しています。今度は note という新しいソフトが出ていまして、それは誰でも執筆・投稿ができて誰でも簡単に見ることができます。Facebook グループで始めた方もそれに固執せず、会員登録してくださる方にお聞きしながらもっと進化を受けて、本当に周南市を応援してくれる人を組織化して、さらにそれに興味を持ってもらいたいと考えています。

●委員 まずはフォロワー数を増やすことが大事かなと思いますが、将来的には人材のマッチングなどもできると面白いなと思いました。

●委員 最近、学生と愛知県の岡崎市の話をした時に、東海オンエアという YouTuber が非常に有名で、その YouTuber を介して岡崎市に行ってみたいという学生がいて、やっぱり SNS は無視できないなと思っています。興味本位で聞きたいのですが、SNS の情報で最もリアクションのあった投稿は何ですか。

◇事務局 動物園が発信した情報ですが、雄と思っていたフクロウが実は雌で、卵を産んでいたというのがすごく話題を呼んだものだと思います。徳山動物園は地元の誇れる施設の一つだと思っていますので、Facebook でも取り上げたりして常にアンテナを伸ばしています。余談ですが、先日、高専の学生が学校に行くまでのバスの道のりを動画にして YouTube に上げたら卒業生が喜んだと言われていまして、例えば、遠くからでも周南市を楽しんでもらえるとか懐かしんでもらえるものがヒントかなと個人的に思っています。

○会長 現在、定住人口は基本的に減少傾向にある中で、関係人口の拡大はどこのまちも掲げていますが、行政の政策はあくまでも住民票をベースになります。例えば、関係人口や SNS で周南に親しみを持ってくれる人もそうですし、これからワーケーションなどの話も出てくる中で、住民票は周南市にはないけれども周南市に関わってそれなりに貢献してくれる層を把握して、その人たちにどうアプローチしていくかということは考えないといけないのだろうと思って、そのあたりは重要なテーマと思っています。例えば、大学生も周南市に住民票を置いてない方が結構いると思いますが、実際には周南市に住んでいて貢献されているわけですので、住民票ベースの行政施策の進め方と関係人口がそれなりの数いるってところは結構大事なことだと思っています。

◇事務局 先程の Facebook の数字が減少した理由ですが、端的に理由を用意していましたので、発言を訂正させてください。以前は戦略的に「いいね！」を増やすための広告を出した戦略を行っていましたが今は広告出していないということと、会長からも指摘がありましたように Facebook の利用者が単に減っているという二つを原因として考えております。以上です。

○会長 それでは 19 件中 10 件ということで過半数が終了いたしましたので、本日はここまでとさせていただきます。全体を通じて何かございましたらお願いいたします。

本日の議事は終了いたしました。それでは進行を事務局にお返しいたします。

6 その他

◇事務局 ありがとうございます。今回の議事録につきましては、事務局にて作成の上、会長と副会長に確認をお願いしたいと考えています。次回の会議ですが、8月17日火曜日の14時からということで、場所は1階の多目的室になりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日お車でお越しの方がいらっしゃいましたら駐車料金の無料化処理をしますので、申し出ていただけたらと思います。

7 閉会

◇事務局 以上をもちまして第1回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。